

薄肉化で省資源、作業負担軽減に 農POフィルム「クリンテートLXガード」



長期展張が可能でフィルム厚さが0.14mmの「クリンテートLXガード」

「クリンテートLXガード」（製造：タキロンシーアイ㈱）は、環境への配慮をめざして開発した新タイプの農POフィルムです。長期展張が可能な「クリンテートLX」の性能は継承しつつ、フィルム厚さを従来の0.15mmから0.14mmに薄くすることで、省資源で環境にやさしいフィルムとなっています。農POフィルムは、限りある資源である石油が原料のプラスチック製品で、使用後に焼却するとCO₂の排出にもつながります。タキロンシーアイ㈱では、プラスチック原料の使用量削減に積極的に取り組んでおり、その一環として本製品を開発しました。

「クリンテートLXガード」の特長

CO₂排出抑制による環境負荷軽減

「クリンテートLXガード」は、0.14mmに約7%薄肉化したことで、フィルムを製造する際の原料を抑えることができ、省資源な製品になっています。また、薄くなったぶん一度に輸送できる製品量が増えて輸送効率が向上することに加えて、フィルムを使用した後の廃棄量が削減できます。これらの省資源化・効率化により、温室効果ガスであるCO₂の排出抑制にも寄与しています。1haの圃場を例に計算すると年間265kg*（スギの木19本分）のCO₂



削減効果が期待できます。

*：1haの圃場として、間口3.5間、奥行80mの単棟ハウス12棟に設定し、使用するフィルム量から仮説をもとに算出した理論値です。

生産者の負担軽減

「クリンテートLXガード」は、生産者の方にも負担軽減を実感していただける製品になっています。薄肉化でフィルムの重量が軽くなったことで、積み下ろしなどの運搬やハウスへの展張・取り外しの作業負荷が軽減されます。また、フィルムの使用後は適正に処理するための回収費用などがかかりますが、重量が軽くなったことで、廃プラ処分費用の削減にもつながります。



安心して使用いただける性能

「クリンテートLXガード」は、フィルムが薄くなっても、厚さ0.15mmの製品と遜色ない引裂き強度と保温

指数を維持します（図1）。本製品の開発にあたっては、各種の性能評価を重視し、長期展張に必要なフィルムの強度や耐久性を維持するために、主原料となる樹脂や各種機能を付与する材料を一から見直し、配合を再設計しています。また、全国各地のハウスで実証試験を行い、従来品と比べて使用感に差はないという評価が得られています。



タキロンシーアイ㈱は、2024年3月にサンテーラ㈱の農PO事業を承継したことで、長い歴史を持つ「クリンテート」シリーズとその技術を受け継いでいます。同社は、今後も環境問題への対応など農業を取り巻く新たな課題に対して、積極的に向き合い持続可能な農業へ貢献します。

●問い合わせ先
全農 耕種資材部 園芸資材課
Tel.03-6271-8310

【全農 耕種資材部 園芸資材課】



図1 「クリンテートLXガード」の引裂き強度と保温指数

※長期農PO：一般的な厚さ0.15mmの長期展張型PO ※保温指数は当社が独自に赤外線吸収量を数値化した値です。 ※数値は想定値であり、保証値ではありません